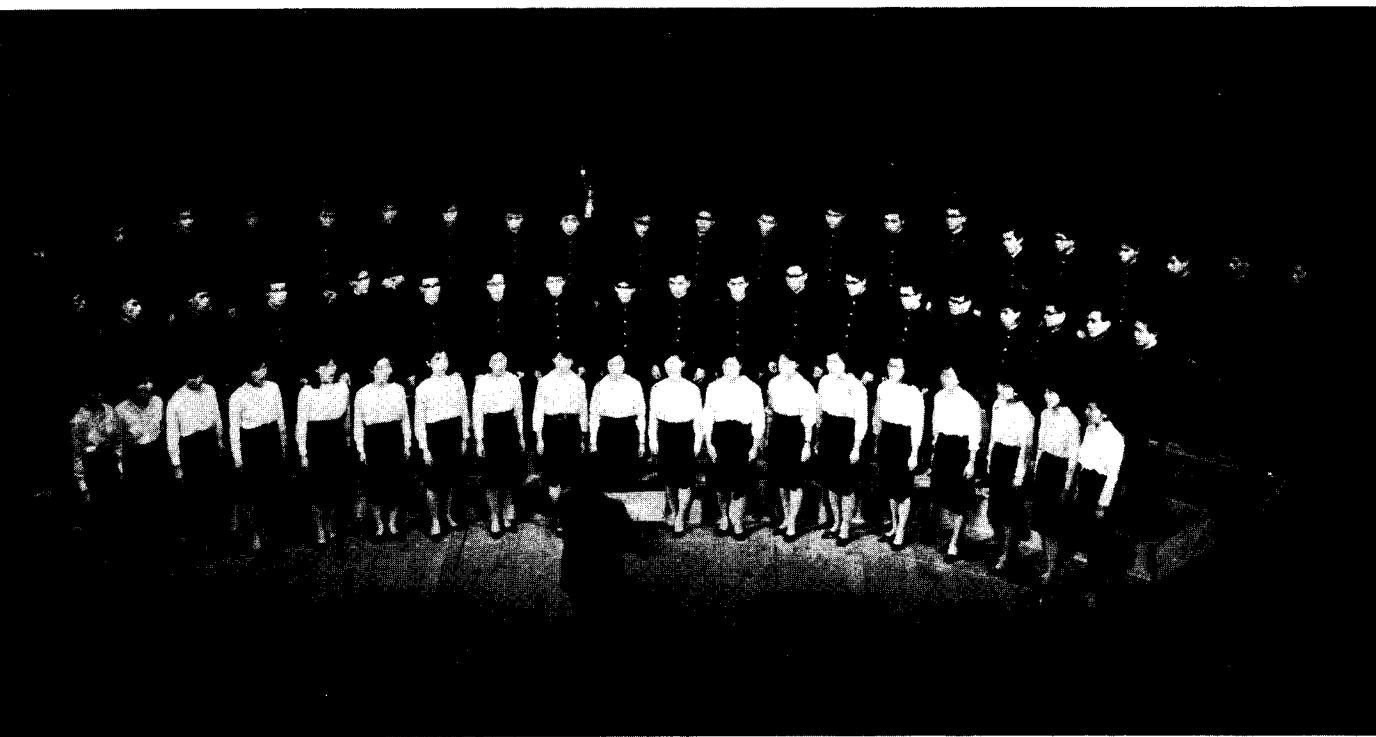


京大ハイマート合唱団演奏会

賛助出演 宇和島合唱団

1966 4. 4 6. 30 P. M.

宇和島市公会堂大宮ホール



ハイマート合唱団の宇和島演奏会によせて

京都大学総長 奥 田 東

京大音楽研究会ハイマート合唱団が、四国宇和島に演奏旅行をしますので、皆様の御協力をお願いいたします。

この合唱団にとっては記念すべき初めての演奏旅行をするのでありますが、私はこれに多大の関心と期待を寄せるものであります。それは、この合唱団が、これまでに幾度も発表会を行っている既成の合唱団とは異った若者の旺盛な創造力がみられるからであります。技術的にはなお未熟であろうと存じますが、学業のかたわら練習にはげみ、歌が好きなことにおいては誰にも負けないと思います。そして国民が一人残らず楽しく合唱できる世の中をつくりたいと団員一同念願しております。

演奏旅行の目的は、自分達の練習成果を聞いていただくということだけではなく、明るい歌声を普及させたいということでもあります。どうか学生の気持も汲みとって合唱を聞いて下さい。そして演奏旅行が実りの多いものになりますよう皆様の御理解と御支援をお願い申し上げます。

音楽研究会顧問 高 安 国 世

京都大学には京大交響楽団、京大合唱団とは別に、学生のクラブ活動として、ささやかながら真剣に音楽を愛好し研究する団体として京大音楽研究会というのがあります。ピアノやバイオリンをひいたり、歌をうたったり、たいへん自由なふんいきで音楽の技術や理論を研究しつつ、またたのしい交友の場ともなっています。音楽専門家の養成をめざしているわけではありませんが、いま新進の世界的バリトン歌手としてドイツで活躍している原田茂生君らも、わが「音研」の出身であります。

この「音研」の合唱部が、しだいに多くの学生を集め、人数においてソロの人たちを凌駕する集団にまで発展したのが「ハイマート合唱団」であります。それで「ハイマート」も右に述べた性格をもった、あくまで学生らしい素人の合唱団であります。その純真で清新なうたごえは、京都でもしだいに愛好者の範囲をひろげつつあるかに見受けられます。このたび御地の皆様の深い御理解と暖い御支援とによりまして、春季合宿を期に、思いがけず御地において、平素の研究と練習の成果をひろく一般の方々にお聞きいただく機会を得ましたことは、私どもの深く感銘するところでございます。団員一同にとりまして、大きな刺激となるとともに、学生生活の思い出として、貴重な体験を与えられるものと信じます。

なにぶん未熟なものたちでございますが、皆様がたの忌憚ない御批判を仰いで、今後のいましめともし、刺激ともいたしたいと存じます。感謝とお願いとを申し述べ、ごあいさつといたします。

ごあいさつ

宇和島の皆様、今晚わ、本日はようこそおいで下さいました。

私達のハイマート合唱団は、京都大学音楽研究会（略して“音研”）に所属している合唱団です。音研は数十年の伝統を誇るサークルですが、今から五年前、ピアノを弾くことだけでは満足できなかった、そして何よりも歌うことを愛した数名の人達が、音研の中に合唱の芽を息吹かせたのがハイマートの始まりです。そして現在では団員も七十名を数えるまでにふくれあがりました。

私達の一年の活動としては、まず秋のハイマート定期演奏会、春と秋の音研定期演奏会のほか、部内発表会や他校との交流、合唱祭出演等があり、更に大きな行事として年三回の強化合宿、コンパ、クリスマスパーティー等を行っております。私達の練習は毎日、昼休みの四十分が中心ですが、この外に週二回、午後にも練習を行っております。ハイマート誕生以来まだ日が浅い為に練習方法、選曲、機構等に関して色々問題が断えませんが、現在私達の一番の悩みは、男性と女性のバランスの問題です。混声合唱団といいましても京大の学生のみで構成しております関係上、ごらんのように女性（声）が非常に少なく、毎年今頃になりますと、新入生を迎え入れるにあたって特に女性獲得に頭を悩ますのが常となっています。

ハイマートというのはドイツ語で「ふるさと」という意味です。私達は、ハイマート創立以来の特色である上級生、下級生一体となった家庭的な雰囲気を保ちつつ音楽研究会伝統の「音楽を人生に役立てる」ことを念頭に、ただ単に合唱を楽しむのではなく、合唱を通じて仲間同志がお互に深く理解し合い、自ら積極的に求める姿勢を持ち続けたいと思っています。そしてこのクラブを名実ともに私達の「心のふるさと」にしようというのが私達の目標なのです。

私達は四月一日から当地で春季合宿を行っておりますが、私達にとって京都の地を離れて演奏するのは今度が初めてであり、団員一同張り切って練習に励んで参りました。今夜は私達が昨年の第4回定期演奏会で発表しました曲を中心に歌ってみたいと思います。どうか暖かいそして厳しい御批判をお願い致します。最後までごゆっくりお過ごし下さい。

最後になりましたが賛助出演して下さいった宇和島合唱団の皆様心から感謝の意を表します。

1966年4月4日

ハイマート合唱団マネージャー

松原 徹雄

時計とめがね

木 藤

宇和島市袋町
TEL 5 6 1

おしゃれする心に……

こおの服地

服地のこおの

宇和島・新橋通銀天街 TEL 1434

プログラム

I 日本民謡

日向地方民謡

刈干切唄

子守唄

木挽唄

東北地方民謡

冬から春へ(三曲)

大館の子守唄

南部半方節

小倉 朗 作曲

原 太郎 作曲

指揮 長安敏夫

II 賛助出演

信濃の秋

旅のおもい

わらたくけむり

河原の月

芭蕉の名句による三つの混声合唱

あらとうと

夏草や

松島や

「美しく青きドナウ」

宇和島合唱団

勝 承夫 作詞

小山章三 作曲

芭 蕉 作詞

岡本敏明 作曲

ヨハンシュトラウス 作曲

指揮 神崎克彦

ピアノ伴奏 宇都宮 啓子

III 合同演奏

赤とんぼ

赤いくつ

母なる故郷

三山 露風 作詞

木田 耕 作曲

野口 雨情 作詞

本居 長世 作曲

家入 修二 作詞

木下 航 作曲

指揮 橋 弥 良 一

岩根楽器店

宇和島市袋町 TEL 1541

べにばら

宇和島市堀端通
TEL 1104

春の装いに

ワコールの下着を!!

資生堂チェインストア

ひらかわ

宇和島・ 銀天街 TEL・1622

プログラム

Ⅳ みんなでうたいましょう

————— 休 憩 —————

Ⅴ ロシア・フィンランド民謡

ロ シ ア 民 謡
暗 き 森 に て
ざ わ め け ア ム ー ル
収 穫 の 歌
フ ィ ン ラ ン ド 民 謡
ポ リ 行 進 曲
河 に て
ポ ル ス カ
バ ラ ード

揮 長 安 敏 夫

Ⅵ 「私の願い」

		高 野 喜久雄 作詞
		高 田 三 郎 作曲
指	揮	橋 弥 良 一
ソプラノ	ソロ	川 辺 道 子
テナー	ソロ	沖 吉 和 祐
バス	ソロ	日 野 利 昭
ピアノ	伴奏	高 橋 明 美

眼鏡検定 眼鏡士の店

メガネのタナベ

宇和島市袋町銀天街
TEL 296

清水の唐饅頭
斗牛もなか

清水閑一郎本舗

宇和島市追手通
TEL 2620

銘 酒
譽 美 人

本福島酒造合名会社
販 売 店

本町 **福 島 酒 店**
TEL (1221)

宇和島合唱団プロフィール

創立以来「合唱を通じて、音楽に関する知識と、理解を深め、教養ある社会人として、日常生活を楽しむ、豊かにすると共に、地方文化の振興に寄与する」をモットーとして、歩み続けた宇和島合唱団は、去年8月20周年記念を迎えた、歴史と伝統を誇る合唱団です。練習問題で、一時ピンチに至ったものの、すぐ立なおり、以来、定期発表会・県の合唱祭・市文化祭等例年の行事の外、NHK・南海放送からの放送、各団体・大学との合同演奏・成人式等市の行事、等年毎に、大活躍を続けて来ております。その他、合唱団には、年間、一月二日の歌いぞめから始まって、クリスマスパーティーで終る訳ですが、合唱団にとって欠く事の出来ないものに、春、夏、秋のレクリエーションがあります。その時は、童心に返って、楽しく遊びますが、遊びつかれて、一人が歌をロずさめば、他の一人が唱和し、それが大勢になって、美しいハーモニーとなり、野に山に、こだまして行くのです。これこそ本当の心の和であり、真の合唱なのです。又当合唱団にとって嬉しい事は種々の事情で宇和島を遠く離れて行った人が休暇等で帰ると、必ず練習場へ来て一緒に歌ってくれることです。そして「合唱団が忘れられない」と。私達は、これらの人達にも心の故郷として、今後も益々、発展させて行くつもりです。

ハイマート合唱団員

マネージャー 松原徹雄
指揮者 長安敏夫
橋弥良一

ソプラノ				テナー				バス				
浅原	岑	子	III 0	大塚	岩	男	IV T	長	安	敏	夫	M I T
常坂	範	子	III 0	沖吉	和	祐	IV P	北	脇	重	宗	IV T
村田	正	子	III S	林口	哲	介	IV S	辻	平	和	郎	IV S
和川	幸	子	III L	野藤	直	樹	IV T	大	村	公	雄	III T
杉本	啓	子	III L	佐口	島	樹	III J	中	坂	紘	一	III S
金原	道	子	III L	山口	正	暉	III S	彦	井	正	道	III S
小小	紀	子	III L	中川	西	隆	III T	平	瀬	士	郎	III J
高橋	睦	子	I S	吉橋	一	雄	III S	池	野	善	弘	III L
	明	美	I 0	井沢	良	一	III J	伊	沢	義	朗	III T
			I L	小村	宏	充	III E	宇	野	義	幸	III T
アルト				丸橋	晃	二	III T	大	浜		勇	III T
鈴宮	宏	子	IV 0	饗場	弘	二	III 0	岡	里		晃	III T
宮後	紘	子	IV 0	井上	正	美	III T	河	合	利	彦	III A
仰延	禮	子	III 0	福井	正	安	III T	田	辺	健	茲	III S
道浦	睦	子	III 0	植田	隆	生	I T	日	野	徹	雄	III T
川岡	美	美	III L	岡田	俊	臣	I T	村	原	呂	弘	III 0
岡本	美	子	III J	田中	和	秀	I T	山	上	真	一	III S
大柴	祥	子	III 0	根木	彦	弘	I T	好	木	秀	武	III M
吉美	智	子	III 0	藤杉	基	道	I S	佐	々	武	和	I T
嘗岡	陽	子	III 0				I S	高	島	光	英	I T
船井	節	子	III S					長	沢	治	德	I E
	智	子	I L					松	浦	喜	夫	I L
								矢	野	京	仁	I A
								山	村	雅	晴	I 0

嫁入ふとん

野田ふとん店

袋町二丁目 TEL 1707

金物のデパート

古谷金物店

宇和島市袋町
TEL 960

奴印唐饅頭 大番

広瀬菓子舗

宇和島市袋町2丁目
電話 914番

文芸春秋の全集

現代日本文学館

全43巻

一、二回発売中

特約店 キング堂書店

オータラジオ店

宇和島市追手通二九
電話 1997番

糸とぼたんと洋品

竹村糸店

宇和島市袋町 TEL.1080

おしゃれ用品・アクセサリー

まきや

カネボウ化粧品チェーンストアー
袋町銀天街入口 TEL 3877

松村薬舗

宇和島市通り
電話 685番

高級紳士服

魚成洋服店

追手通り
TEL 1777

洋品雑貨
学生服

ひらの

追手通り
TEL 2748

